

いちのみやの芸術文化



- 特集「近代の織物」
- 加入団体の紹介
- これからの催し

2008.6

第5号

一宮市芸術文化協会

織物の広告(部分)

近代の織物

一宮市には、一宮市博物館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？



▲バツタン機
(尾西歴史民俗資料館蔵)

大阪の商店が作成した
縞木綿のポスター▶
(明治10年頃)



その中心でした。このほかに愛知県内の織物産地としては知多半島を中心に発展した白木綿、西三河を中心とする三河木綿があります。愛知県の織物生産は、明治7年(1874)の段階で大阪府、新川県(富山県の前身)に次いで第三位の生産高を維持していました。そして、この地域の織物がその生

愛知県は江戸時代から全国有数の織物産地であり、特に現在の一宮市を含む、尾張北西部は

産高に占める割合は高いものでした。

この地域の織物の起源は、江戸時代中期の明和年間(1764〜72年)に京都西陣から、さんとめじま 棧留縞製織技術が伝わったことから始まるとされています。美濃国竹ヶ鼻(現岐阜県羽島市)、笠松(現笠松町)を経て、起、小信中島といった木曾川沿いの地域から内陸部へと伝わって

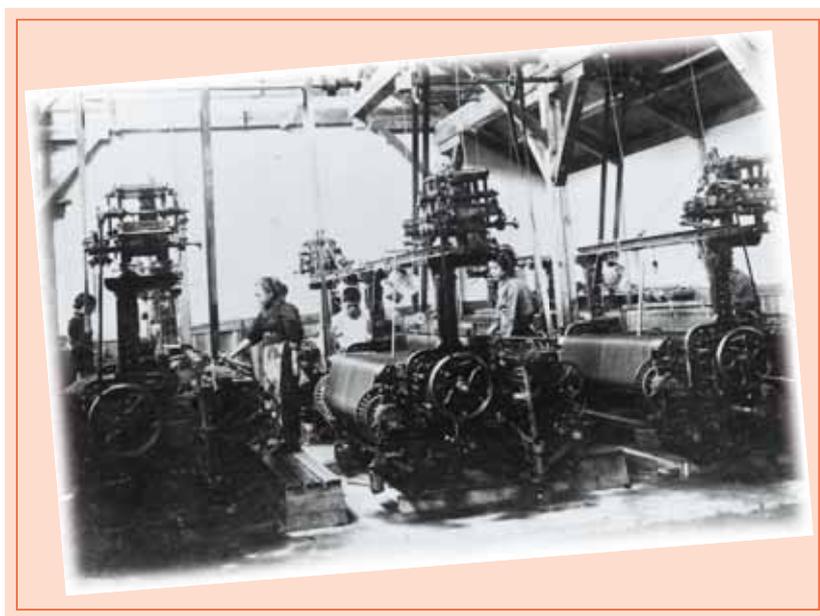
きました。その後、寛大寺織、結城縞が織り出され、この地域は全国でも有数の織物産地となっていました。

この地域の織物は、明治時代中頃に綿織物からけんめんちうしきあひ 絹綿交織物の時代を迎えました。この時期の織物は輸出向けの知多や北陸の織物とは異なり、国内向けの織物という性格を持っていました。さらに、明治時代末から大正時代中頃にかけて、動力織機が導入されるようになり、また、絹綿交織物から毛織物へと移行しました。この背景には大正時代末以降、急速な洋風化にともなう、洋服の需要増加がありました。軍隊の近代化、日本の大陸進出という軍需も毛織物産業を発展させる要因でした。

このような歴史的背景を受けて、昭和初期にはこの地域の毛織物生産は全国一となり、「毛織王国」と称されるようになりました。販路としては日本国内のみならず、中国、朝鮮などにも輸出されました。

このような一宮の織物業を支えたのは、地方から集まった多くの女性たちです。彼女等の存在なくして、

昭和初期の仕事風景



この地域の織物産業は成り立ちませんでした。また、その頃の街の活気もありませんでした。

現在でも市内の起、奥町、玉ノ井、里小牧といった木曾川沿いの地区に規模は大きくありませんが、比較的多くの工場が残っており、当時の様子を伺い知ることが出来ます。



昭和初期の織物工場模型



会長あいさつ

一宮市芸術文化協会 会長 尾 関 良 英

このたび、谷一夫前会長の任期満了に伴い、後任を務めさせていただく事になりました尾関良英でございます。

一宮市も合併をし、4年目に入りました。各地域での独自の取り組みも開始されようとして

います。最近、人の価値観が急速に変化しています。しかし、人の心にある芸術文化という財産はお金では計りえない大切なものであり、ますますその価値を増しています。

一宮市芸術文化協会は、一宮市全域を対象とした芸術文化の普及、振興を目的に昨年の春、それまで各地域で連綿と活動されてきた一宮市文化団体協議会、尾西文化協会、木曾川町文化協

会を統合し、発足いたしました。

この1年間、最初の年ということもあり、様々な所で会員の皆様には、多大なご心配、ご迷惑をおかけしながら、新しい事業に取り組んでいただきました。お陰を持ちまして大過なく最初の年を乗り切ることができました。この場をお借りし、心より感謝申し上げます。

さて、私は、先ほど申し上げましたとおり、谷前会長をはじめ、役員、会員の皆様方がご苦勞、ご努力をして固められた文化の礎の上に今回立たせていただきました。目の前には、一宮市の新しい芸術文化の展望が開けております。ここからの道を通り、その一歩を踏み出すようにするのが、その責任の重さ

を痛感いたしております。

38万都市となった一宮市の文化団体としてその名に恥じぬよう、しっかりと確実にその一歩を進めて行きたいと思っております。ただ一つ、申し上げることができませんのは、この一歩は必ず、上へ上へと明るく続く道の始まりであるということです。

前会長同様、この協会の活動に一意専心の努力を惜しむつもりはございません。どうか皆様方におかれまして、この一宮市芸術文化協会の諸活動に昨年同様のご理解とご協力をいただき、本協会ならびに一宮市の文化の普及、発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。ごあいさついたします。

平成20・21年度

一宮市芸術文化協会新役員

※下図は各部門選出の理事一覧表です。

無任所理事			監事		会計	副会長				会長	顧問			役職名		
														氏名		
不破	塚本	足立	竹内	細井	小島	寺西	不破	加藤	林	尾関	墨	岡田	岩田	谷	備考	
絃治	文雄	重喜	広	進	祥子	洋二	皓	昌義	英夫	良英	利春	春雄	哲夫	一夫		
元尾西文化協会技芸部副会長			木曾川ライトソングクラブ		元一宮市文化団体協議会副会長	元尾西文化協会副会長		元尾西市教育長		元一宮市文化協会副会長		元一宮市文化団体協議会副会長		一宮市長		
元尾西文化協会文芸部副会長			元尾西文化協会監事		元尾西文化協会芸術部副会長		元一宮市文化団体協議会副会長		元尾西文化協会副会長		元尾西文化協会副会長		元一宮市文化団体協議会副会長		元一宮市文化団体協議会副会長	

文社部会			芸能部		音楽部					美術部				文学部			部						
																	部門						
社会文化部門	華道部門	茶道部門	芸能部門	舞踊部門	管弦楽部門	吹奏楽部門	器楽部門	声楽・合唱部門	吟剣詩舞部門	謡曲部門	邦楽部門	写真部門	書部門	彫塑部門	デザイン・工芸・洋画部門	日本画部門	詩部門	狂俳部門	川柳部門	俳句部門	短歌部門	部長	
	○		○					○						○						○			
柳原 たづ子	安立 高明	岩田 宗晋	木全 修	佐々 智恵子	浅井 英仁	越山 ちよ	久野 以早夫	鎌田 猛	森 恒夫	小関 秀義	菱田 繁雄	林 大樹	森 昭夫	高山 悟	丹羽 桃慶	青木 小代子	太田 康直	植田 喜久男	坂井 斉	岩田 正治		氏名	
一宮アーティフィシャルフラワー協会鶴の会	一宮華道連盟	茶道裏千家	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	琴生流大正琴さつき会	一宮音楽家協会	一宮吟剣詩舞協会	竹石会	一宮三曲協会	中日真澄クラブ	社団法人中部日本書道会一宮支部	一宮美術作家協会 / デザイン・工芸部・彫塑部	一宮美術作家協会 / 洋画部	桃墨会	一宮現代詩協会	一宮狂俳壇連盟	一宮川柳社	一宮市民俳句教室	真清短歌会		団体名	

加 入 団 体 一 覧

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
文学部	短 歌 部 門	真 清 短 歌 会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		尾 西 短 歌 会	毎月第4日曜日：午後1時～ 朝日老人福祉センター
		青 の 樹 短 歌 会	毎月第1土曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター
	俳 句 部 門	一 宮 市 民 俳 句 教 室	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		一 宮 青 樹 句 会	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		北 方 俳 句 会	毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館
		葉 栗 俳 句 教 室	毎月第2火曜日：午後1時～ 葉栗公民館
		本 町 俳 句 会	毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館
		き き よ う の 会	毎月第1木曜日：午後1時～ 大志公民館
		千 秋 老 人 俳 句 ク ラ ブ	毎月20日前後の水曜日：午後1時～ 千秋公民館
		神 山 句 会	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 神山公民館
		浅 井 土 筆 句 会	毎月第3木曜日：午後1時～ 浅井公民館
		白 緋 俳 句 会	毎月第4日曜日：午後1時～ 宮山公民館
		尾 西 牡 丹 会	毎月第2土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		尾 西 句 会	毎月第2金曜日・第3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 他
		仏 手 柑 句 会	毎月第3日曜日：午後3時～ 講師宅
		一 宮 市 尾 西 市 民 俳 句 会	毎月第3土曜日：午後1時30分～ 尾西歴史民俗資料館
	尾 西 新 樹 会	毎月第1日曜日：午後1時30分～ 尾西歴史民俗資料館	
	川 柳 部 門	一 宮 川 柳 社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
	狂 俳 部 門	一 宮 狂 俳 壇 連 盟	毎月第2土曜日：午後2時～ 葉栗公民館
詩 部 門	一 宮 現 代 詩 協 会	事務局へお問合せください。	
	一 宮 漢 詩 講 聲 會	毎月第1火曜日：午前10時30分～ 毎月第4土曜日：午後2時30分～ 豊島図書館	
美術部	日 本 画 部 門	一宮美術作家協会／日本画部	事務局へお問合せください。
		俳 画 の 会	毎月第1・3木曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター
		桃 墨 会	毎月第2・4火曜日：午前10時～ 土曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター 他
	洋 画 部 門	一宮美術作家協会／洋画部	事務局へお問合せください。
		尾 西 絵 画 ク ラ ブ	毎月第2土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		彩 の 会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター
		水 絵 の 会	毎月第1・3金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		鈴 木 田 油 絵 教 室	年間約30回：1回2時間 三岸節子記念美術館
		楽 しく 描 こ う 会	毎月第2・4土曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
		尾 西 彩 の 会	毎月第1・3土曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター
		ポ ビ ー の 会	毎週水曜日：午前10時～ 講師宅
		尾 西 ガ リ バ ン バ ンの 会	毎月第2・4金曜日：午前9時～ 尾西南部生涯学習センター
		パ レ ッ ト 会	毎月第2・4木曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
	木 曾 川 絵 画 同 好 会	毎月第2・4日曜日：午後1時30分～ 木曾川公民館北館	
	デ ザ イン ・ 工 芸 彫 塑 部 門	一宮美術作家協会／デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。
		尾 西 拓 友 会	事務局へお問合せください。
		尾 西 陶 芸 ク ラ ブ	3月、8月に1週間程度：午前9時～ 尾西文化広場
		陶 順 会	毎週火・土曜日：午前9時～ 朝日老人福祉センター
		楽 陶 会	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 講師宅
		美 省 会	毎月第4日曜日：午前10時～ 講師宅
	書 部 門	社団法人中部日本書道会 一宮支部	事務局へお問合せください。
		麗 筆 会	事務局へお問合せください。
		象 雲 会	毎月第1・3水曜日：午前10時～ 土曜日：午後1時30分～ 吉田公民館
	写 真 部 門	日中古墨書道友好協会尾張支部	毎週日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		一 宮 写 真 協 会	事務局へお問合せください。
		中 日 真 澄 ク ラ ブ	事務局へお問合せください。
音楽部	邦 楽 部 門	一 宮 三 曲 協 会	事務局へお問合せください。
		三 山 会	月1回日曜日：午後2時～ 講師宅
		里 音 会	毎週土曜日：午後1時～ 金剛幼稚園または伝来寺
		す み れ 箏 の 会	毎週月・金曜日：午前9時～ 講師宅
		美 友 会	週1回(随時)：午後1時～ 講師宅
		藤 乃 会 尾 西 教 室	講師宅：その他、事務局へお問合せください。
	謡 曲 部 門	尾 西 三 味 線 熹 世 智 会	毎週木曜日：午前9時～ 午後1時～ 小信中島つどの里
		相 生 ・ 中 日 文 化 会	毎月第2・4木曜日：午後6時～ ルボテンサンビル
		い づ み 会	毎週土曜日：午後1時～ 奥公民館
		竹 石 会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 真清田神社
		市 職 ク ラ ブ ・ 緑 風 会	毎週火曜日：午後6時～ その他、事務局へお問合せください。
		誠 諷 会	毎月第2・4火曜日：午前9時30分～ 河端公民館 毎月第1・3水曜日：午後1時30分～ 島村公民館
		清 宵 会 ・ 蘇 水 会	毎週月曜日：午後1時～ 宮西公民館

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所	
音 楽 部	謡 曲 部 門	丹 謡 ・ 萩 謡 会	毎週土曜日：午後6時30分～ 丹陽公民館	
		紅 韻 会	毎週月・木・土曜日：午前10時～ 講師宅	
	吟 剣 詩 舞 部 門	一 宮 吟 剣 詩 舞 協 会	事務局へお問合せください。	
		雅 芳 流 嶋 邦 吟 詠 会	毎週金曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター 毎週土曜日：午前10時～ 尾西文化広場	
		尾 西 詩 吟 ク ラ ブ	月に3～4回 日曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター	
		神 道 一 刀 流 尾 西 剣 詩 舞 会	毎週金曜日：午後1時～ 小信中島つどいの里 他	
		剣 詩 舞 道 柳 翠 会	毎週金曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター西館 他	
	声 楽 ・ 合 唱 部 門	濃 尾 吟 詠 会	毎月第1～第4金曜日：午後7時～ 木曾川公民館	
		一 宮 音 楽 家 協 会	事務局へお問合せください。	
		一 宮 合 唱 協 会	事務局へお問合せください。	
		一 宮 第 九 を う た う 会	毎週火曜日：午後7時～ カトリック一宮教会、一宮スポーツ文化センター	
		尾 西 混 声 合 唱 団	月3回土曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター西館	
		女 声 合 唱 団 蓮	毎週土曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター西館	
		長 澤 民 謡 会	毎週火・水・木・土曜日：講師宅 その他、事務局へお問合せください。	
	器 楽 部 門	佳 富 士 会	毎月第2・4日曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター	
		尾 西 民 謡 熹 世 智 会	毎月第4木曜日：午後7時～ 小信中島つどいの里	
		琴 伝 流 大 正 琴 琴 稀 会	毎週金・土曜日：午後1時～ 尾西文化広場	
		琴 伝 流 大 正 琴 琴 女 会	毎週火曜日：午前10時～ 午後1時～ 毎週金曜日：午前10時～ その他、事務局へお問合せください。	
		大 正 琴 カ ト レ ヤ 会	月3回土曜日：午前9時～ 尾西生涯学習センター	
		琴 生 流 大 正 琴 さ つ き 会	毎月第2・4土曜日：午前9時～ 尾西生涯学習センター	
		清 の 琴 ・ ロ マ ン ス ハ ー プ	毎週火曜日：午後1時～ 毎週木曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター	
	吹 奏 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	安 美 & コ ン プ リ オ	日曜日 その他、事務局へお問合せください。	
		木 曾 川 ラ イ ト ソ ン グ ク ラ ブ	毎月第1・3土曜日：午後7時～ 木曾川公民館	
	芸 能 部	舞 踊 部 門	一 宮 市 民 吹 奏 楽 団	毎週土曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター
			尾 西 ウ ィ ン ド オ ー ケ ス ト ラ	毎週日曜日：午後5時30分～ 尾西生涯学習センター西館
			一 宮 舞 踊 協 会	事務局へお問合せください。
			ハ ワ イ ア ン ・ フ ラ	毎週火曜日：午前9時～ 毎週水曜日：午後5時30分～ 尾西生涯学習センター西館
新 舞 踊 あ す か 会			毎週水曜日：午後6時～ 起つどいの里	
芸 能 部 門		坂 東 流 百 喜 久 会	毎週金曜日：午前9時～ 尾西生涯学習センター	
		百 の 会	毎週土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター	
		扇 寿 々 会	毎週月曜日：午前9時～ 火曜日：午後7時～ 向山公民館	
		一 宮 民 俗 芸 能 連 盟	事務局へお問合せください。	
		同 派 会	事務局へお問合せください。	
茶 道 部 門	弥 生 会	事務局へお問合せください。		
	茶 道 表 千 家	事務局へお問合せください。		
	茶 道 裏 千 家	事務局へお問合せください。		
	尾 西 玉 香 会	月3回 日曜日：午前9時～ 火曜日：午後2時～ 講師宅		
	尾 西 表 千 家 木 野 (文) 会	月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅		
	尾 西 緑 寿 会	月3回 土曜日：午後1時30分～ 講師宅		
	尾 西 清 真 会	毎週月・土曜日：午後1時～ 講師宅		
	表 千 家 尾 西 古 田 社 中	毎週月曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター 毎週土曜日：午後2時～ 講師宅		
	裏 千 家 尾 西 杉 本 社 中	毎週月・水曜日：午後7時～ 金・土曜日：午前10時～ 午後1時～ 講師宅		
	松 風 会	毎週木曜日：午後5時～ 講師宅		
社 会 部	華 道 部 門	一 宮 華 道 連 盟	事務局へお問合せください。	
		未 専 会	事務局へお問合せください。	
		池 の 坊 会	事務局へお問合せください。	
		華 友 会	事務局へお問合せください。	
		草 月 会	事務局へお問合せください。	
		則 風 会	事務局へお問合せください。	
		な る み 会	事務局へお問合せください。	
		尾 西 玉 香 会	月3回 日曜日：午前9時～ 火曜日：午後2時～ 講師宅	
		尾 西 小 原 流 算 社 中	月3回 土曜日：午後1時30分～ 講師宅	
		尾 西 池 坊 木 野 (文) 会	月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅	
	社 会 文 化 部 門	小 原 流 尾 西 古 田 社 中	毎週金曜日：午前10時～ 毎週土曜日：午後2時～ 講師宅 他	
		尾 西 花 紬 会	毎月第4月曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター	
		一 宮 映 像 ク ラ ブ	毎月第2日曜日：午後6時～ 木曾川商工会館	
		一宮アーティフィシャルフラワー協会 鶴の会	毎週金曜日：午前10時～ 一宮地域職業訓練センター	
		一宮アーティフィシャルフラワー協会 風雅の会	毎週木曜日：午前10時～ 一宮地域職業訓練センター	
社 会 文 化 部 門	歌 楽 会	毎月第3日曜日：午後7時～ 代表者宅		
	若 芽 会	事務局へお問合せください。		
	花 千 会	毎月第1・3水曜日：午後1時～ 講師宅 第1・3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター		

「ハワイアン・フラ」の団体名称を東京本部の先生からつけていただいてから、約19年になります。この一宮市で活動を始めてからは7年、色々な所から出演の依頼を受けるたび、心から感謝をし、皆様方の前で精一杯の踊りを披露させていただいています。

昨年は、尾西公民館文化祭、びさいまつり、ふくしのつどい、尾西芸能祭、ふれあいのつどい等のイベントや老人会、老人保健施設等への慰問で日頃の練習の成果を披露させていただきました。踊りを披露する時間はわずかですが、一瞬でも素敵なハワイの風景を想像していただき、皆様に感動を与えられるよう会員一同努力いたしました。中でも全国ボランティアフェスティバルあいち・なごやに出演させていただいたことは、とても心に残り、よい経験となっています。

また、毎年8月の第1土曜日に蒲郡市にある「ラグーナ蒲郡のイベント」へ出演することが生徒の皆さん達は一番の楽しみになっているように思います（1泊2日で行きますので）。

まだまだ未熟な私たちですが、ボランティア精神・アロハの心で頑張っていきたいと思います。

毎週火曜日の午前9時からと水曜日の午後5時30分から、尾西生涯学習センター西館にて6歳から80代の皆さんで楽しく家庭的な雰囲気の中、レッスンをしています。

笑顔の素敵な女性になれること間違いなしです。皆さんも一度体験されてはいかがでしょうか？



▲びさいまつり

【問合せ先】不破 三都子 ☎62-6777

詩吟は今から約1300年の昔、中国の漢詩が日本に初めて伝来し一種の節を付けて読んだのが始まりであると言われていいます。

幕末には、多くの志士たちが詩を作り、武士階級の間で大流行し益々隆盛をきたしたのです。武士たちが士気を高揚するために大声を張り上げて高吟したこの時代が最も盛んな時でありましたが、今日の詩吟の形態が確立されたのは、大正時代からとされています。

現在、会員数250名、一宮在住及び近隣の7つの流会派と数団体の友好会で構成され、様々な行事を行っております。行事もマンネリ化を防ぐため、コンクールや構成吟等を交互に取り入れたりし色々な趣向を凝らし、飽きのこない大会にして行きたいと心がけています。

会員の皆様も小学校低学年から90歳近くのご高齢の方まで幅広く吟詠、剣舞、詩舞と一緒に楽しんでいただいています。背筋を伸ばして大きな声を出すことは健康増進にも非常に良いことではないでしょうか。

昨年の11月3日、一宮スポーツ文化センターにおいて一宮吟剣詩舞道大会を盛大に開催させていただきました。この大会は、一宮市の文化高揚と吟剣詩舞の普及発展のため、また会員相互の親睦を深めることを目的に一宮市芸術祭へ参加したものです。

千年以上の歴史ある伝統文化を日本人の心の歌として、より多くの人々に吟じ続けていただけたらと願っております。



▲一宮吟剣詩舞道大会

【問合せ先】勅使河原 龍鄭 ☎81-0853

楽陶会は、陶芸を楽しんでいる仲間の会です。土をこねる、叩く、伸ばし丸める、そんな単純作業の繰り返しの中から生み出される作品は、どれも個性豊かです。食器、花入れ、人形、オブジェ等々、自分だけのオリジナルの世界に一喜一憂しながら、会員同士の交流も楽しく、お互いに良い刺激を受け合うことで作品の広がりも感じられます。

昨年、第62回一宮市芸術祭において「土への触…紙への触」のタイトルで日中古墨書道友好協会尾張支部と合同作品展を行いました。中国の書道家を始め、生徒の皆さんの作品と陶芸、この二つが共に在ることで新しい空気が生まれました。多くの方々にご観覧をいただき、会員一同大きな励ましをいただきました。

デジタル化が進む社会で、1つずつの手仕事、大量生産には無い、手作りの温かさ、優しさ、癒しを味わいながらの制作の一刻は、雑念が消え、無心になれる非常に貴重な時です。

自分の表現を楽しみつつ感じる体の適度な疲労は、満足感となって心を充たし、心身の健康にも繋がるものと信じています。

これからも多くの方々と交流を図りながら、末永く制作活動を継続できるようにしたいと思っています。

興味のある方は、是非、一度体験してみてください。



◀
無
心

【問合せ先】石田 元子 ☎46-1992

昭和59年に発足した青の樹短歌会は、近々25周年目を迎えようとしています。

会員の中には、当初から活動を共にしてきた人もいますが、長い間には新会員との素晴らしい出会いが数々ありました。初めて歌を詠んだという人の真剣さが、喜びの連鎖となりいつにも増して会が盛り上がります。

例会は、毎月第1土曜日の午後1時30分から尾西生涯学習センターにて行っています。事前に提出した作品のプリントをもとに合評形式をとっていますが、経験を積むために司会進行は順番制で体験してもらっています。歌を読み上げて批評する人も、全体の時間調整に気を配る進行係の人も皆真剣で、和やかな中にも活気ある時間が過ぎて行きます。これらは話し合いで決めて進めているのですが、新会員については、その意思を尊重して慣れるまで待つ雰囲気があります。

また、他の会と連携して開催する催しに短歌大会や吟行会があり、日頃あまり会えない人たちと友情を深める良い機会となっています。

さらに、文化講座発表会では会員の作品を展示させて貰うなど、秋は行事が目白押しです。

「短歌を読むのは大好きなのですが、私も作ることができるのでしょうか」と話しかけられる事があります。始めるか、始めないかだけの違いで誰にでも出来ます。自分の思いを書きたい、この気持ちは誰にでもあるものです。お気軽に参加していただき、短歌の世界に触れてみてください。



◀
例
会
風
景

【問合せ先】園部 洋子 ☎45-6503



《市および市内公共施設の催し》

一宮市博物館
 〆(46)3215

企画展「土と炎の芸術」

日時 ● 7月5日(土)～8月3日(日)

午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで、

月曜休館、以下同じ)

内容 ● 愛知県陶磁資料館の収蔵資

料から日本の縄文～古墳時
 代の土器と同時期の世界の
 土器を比較展示

観覧料 ● 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

市内小中生・65歳以上無

料(以下同じ)

「2008一宮美術作家新展」

日時 ● 8月30日(土)～9月15日(日)

内容 ● 一宮美術作家協会会員によ

る最新の発想の力作(絵画

・平面、彫塑・立体、デザ

イン、工芸)を展示

「一宮写真協会展」

日時 ● 9月18日(木)～9月28日(日)

午前9時30分～午後5時

内容 ● 感性に裏打ちされた表現力

で、熱い思いを込めた作品

を展示

三岸節子記念美術館
 〆(63)2892

特別展「2008夏休みの美術館

鈴木昭男展 点気ki-datei

日時 ● 7月12日(土)～8月17日(日)

午前9時～午後5時(入館

は午後4時30分まで、月曜

休館、以下同じ)

内容 ● 音をテーマとするサウンド

・アーティストによる展示

観覧料 ● 一般 500円

高大生 300円

小中生・65歳以上無料

常設展「こどもミュージアム」節子

さんとあそぼ!」展

日時 ● 7月12日(土)～8月31日(日)

午前9時～午後5時

内容 ● 三岸節子作品のクラフトキ

ットを会場で挑戦、体感し

ながら鑑賞

観覧料 ● 一般 320円

高大生 210円

小中生・65歳以上無料

常設展開館10周年記念「新収蔵品

紹介展 珠玉の三岸節子」

日時 ● 9月2日(火)～11月16日(日)

午前9時～午後5時

内容 ● 新たに所蔵した作品を中心

に展示。記念講演会やミュ

ージアムコンサート等を開催

観覧料 ● 一般 320円

高大生 210円

小中生 110円

市内小中生・65歳以上無

料

尾西歴史民俗資料館
 〆(62)9711

「幕末の起宿」

日時 ● 6月21日(土)～8月31日(日)

午前9時～午後5時(入館
 は午後4時30分まで、月曜
 休館)

内容 ● 黒船来航から江戸幕府滅亡

までの幕末社会を起宿の視

点から紹介

観覧料 ● 無料

青年の家

〆(73)2400

青年のつどい「サマーフェスティ

バル 盆踊りの夕べ」

日時 ● 7月5日(土)・6日(日)

午後5時30分～8時30分

(6日は午後8時まで)

内容 ● 盆踊り、おもちゃ、飲み物

の販売也

参加料 ● 無料

一宮市尾西市民会館
 〆(62)8222

「春風亭小朝 独演会」

日時 ● 7月12日(土) 午後2時～

入場料 ● 3,500円(全席指定)

未就学児の入場は、遠慮

願います。



『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(45)8045

日時▼6月22日(日)・7月27日(日)・

8月24日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を一宮

川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時▼6月22日(日)・8月24日(日)

午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼当季雑詠3句を一宮市民俳

句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(72)6606

日時▼7月13日(日)・8月10日(日)

午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼真清短歌会委員により実作

指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『おりもの感謝祭 一宮七夕まつり 第36回学生書道展 第15回書道連盟選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】

☎(73)9503

日時▼7月12日(土)・13日(日)

午前10時〜午後4時

(12日午後1時〜)

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼上位作品と役員、指導者の

作品を展示

入場料▼無料

『七夕まつりコンサート』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎(43)0737

日時▼7月27日(日)

午後5時〜6時(予定)

会場▼真清田神社特設舞台

観覧料▼無料

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(45)6702

日時▼8月9日(土)・9月13日(土)

午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により

優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

『黒岩山車保存会 川祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(84)0013 (以下同じ)

日時▼8月2日(土) 午後7時〜

会場▼石刀神社(浅井町黒岩)

『島文楽保存会 虫干し』

日時▼8月3日(日) 午前9時〜

会場▼島村公民館(島村字岩畑)

内容▼市の有形文化財である島村

地区の文楽人形を虫干し

ます。

『瀬部山車・臼台祭保存会 臼台祭』

日時▼8月16日(土)

午後6時30分〜

会場▼八剣社(瀬部字大門)

『こま希久会 ゆかた会』

【問合せ先 一宮舞踊協会】

☎(45)5498

日時▼8月17日(日) 正午〜

会場▼一宮勤労福祉会館

内容▼日舞発表会

入場料▼無料

『加入団体の催し』欄に情報を掲載しませんか？

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体のイベント情報を募集します。

発行月3・6・9・12月の前月1日までに、必要事項を任意の様式にて記入の上、事務局まで提出してください。

必要事項

- ①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場
⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法 ⑨その他必要事項

提出先

〒493-8511 一宮市芸術文化協会事務局(住所不要)
または FAX 0586-86-1809

『いちのみや文芸
2008』
作品募集

1、募集種目

- ① 随想・随筆 一人一編
(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)
- ② 現代詩 一人一編
(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)
- ③ 漢詩 絶句、一人2首以内
- ④ 短歌 一人8首以内
- ⑤ 俳句 一人10句以内
- ⑥ 川柳 一人10句以内
- ⑦ 狂俳 一人10句以内

2、応募上の注意

- ① 応募は、一人3種目以内と
します。
- ② 用紙は、A4判の4000字
詰原稿用紙とし、種目ごと
に別紙を用いてください。
ワープロなどの機器を使用
する場合は、A4判白無地
の用紙を横長に用い、20字
×20行で印字してください。
- ③ 原稿は縦書きとし、文字は
正確に読みやすく書いてく

ださい。

④ 原稿には、欄外に種目を記
入してください。その他に
氏名、号(必要に依じて)、
年齢、住所(番地まで正確
に)、郵便番号、電話番号
を記入してください。なお、
氏名および号には振り仮名
をつけてください。

⑤ 応募原稿は返却しません。

3、応募資格

市内在住・在勤または一宮
市芸術文化協会加入団体に所
属している人

4、作品の採否

応募作品の採否については、
編集委員が選者となり、編集
委員会で決定します。

5、応募方法

〒493-8511 (住所記載不要)
一宮市芸術文化協会事務局
『いちのみや文芸』係
(一宮市教育委員会 生涯学
習課内)までお送りください。
7月2日(必着)

「いちのみや民俗芸能のつどい」



- 日時 8月24日(日)
正午～午後3時20分(予定)
- 会場 一宮市民会館
- 内容 一宮民俗芸能連盟の加盟団
体が市内各地に伝わる民俗
芸能を上演します。
- 入場料 無料

出演予定団体 石刀祭山車保存会、北方ばしょう踊保存会、一宮真清伶人会、馬寄木遣り音頭保存会、
宮後住吉踊保存会、島文楽保存会、機織唄保存会、馬場獅子屋形打囃子保存会、
瀬部山車・臼台祭保存会、黒岩山車保存会のみなさん

[題 字] 武 山 翠 屋
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局 (市教育委員会生涯学習課内)
〒493-8511 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り27番地
TEL 0586-84-0013 / FAX 0586-86-1809